

令和5年 12月定例会が開催されました

11月29日から12月22日までの24日間を会期として、さいたま市議会12月定例会が開催され、市長提出86議案、議員提出1議案の計87議案が審議され議決されました。小森谷まさる議員は、総合政策委員会で議案外質問、本会議で議員提出議案の提案を行いました。

総合政策委員会で議案外質問

「子育て楽しいさいたま市」の子育て環境づくりを市役所、区役所などから率先して示していくべきとの考えから、さいたま市職員の子育ておもしろい・女性活躍推進プランの着実な推進を訴えました。

推進の 主な観点

- ◆男性職員の積極的な育児休暇取得
(特に男性教職員)
- ◆時間外勤務の縮減・有給休暇の取得促進
- ◆女性職員の登用拡大



総合政策委員会で質問を行なう

「公平で安全なブラッドパッチ療法の実施に向けた適切な措置を求める意見書」を提案

事故による外傷などで発症する脳脊髄液漏出症(減少症)の治療法であるブラッドパッチ療法について、保険診療の対象拡大と安全性確保を求める意見書を議員提出議案として提案し、全会一致で採択されました。

※ブラッドパッチ療法は、髄液が漏れている付近に自分の血液を注入し、かさぶたを作って閉じる治療法です。



本会議で議員提出議案の説明を行う

市立保育園で紙おむつ定額制サービスの実証実験!

市民の皆さんからの声を受け、公明党から提案した保育園での紙おむつのサブスクの実証実験が行われました。

毎月保護者が定額の利用料を事業者に支払うことで、事業者から直接紙おむつが保育施設に届きます。保護者は紙おむつの持参

や紙おむつへの記名が不要となるため、利便性の向上につながり、また、保育所は紙おむつの管理が一元化されるため、業務の負担軽減につながるなど、それぞれの効果が期待されています。



- ◆実施期間:令和5年11月1日から12月28日まで
- ◆効果検証:対象児童の保護者へのアンケート等を実施します。
- ◆実証実験実施園:桜木保育園・武蔵浦和保育園・大戸保育園・西町保育園

子育て支援医療費助成度の対象を 高校3年生まで引き上げへ!

「子育て支援は未来への投資」との信念から、これまで、公明党市議団では、代表質問や一般質問、また、毎年度の予算要望等で子育て支援医療費助成度の高校3年生までの拡充を訴えてまいりました。

この度、12月4日のさいたま市議会本会議で、公明党市議団の質問に対して、清水勇人市長から「令和6年度からの高校生までの医

療費無償化の拡充について、子ども未来局に対しましては詳細な制度設計を検討するよう指示し、また財政局に対しましては自主財源の確保に向けた検討を行うよう指示をいたしました。」との明快な答弁を引き出しました。



物価高騰対策を市長に申し入れ

政府が決定した「デフレ完全脱却のための総合経済対策」において、各地域の実情に合わせて、きめ細やかな支援策を進めることができる「重点支援地方交付金」の予算が追加されたことから、同交付金を効果的に活用し、物価高騰対策を進めるよう11月24日に清水市長に提言しました。

<主な内容>

- ① 低所得世帯支援枠として1世帯7万円が盛り込まれたことを踏まえ、年内支給を目指して早急に予算化を進めること。
- ② 低所得世帯支援枠に該当しない住民税均等割りのみ課税世帯への支援策を講じること。
- ③ 上記①、②に該当する子育て世帯への支援策を講じること。

- ④ 家庭における光熱費負担を軽減するため省エネ性能の高いエアコン等への買い替え支援策を講じること。
- ⑤ 子ども食堂や配食・食品配布事業を実施している団体への運営支援策を講じること。



清水市長に提言書を提出

家庭用省エネ家電買換えを応援

市長への申し入れにも掲げた提案が実現します。家庭からのCO2削減とエネルギー価格高騰による電気料金の負担軽減を目的に「省エネ家電買換え促進キャンペーン」を実施することとなりました。対象品目は、エアコン、冷蔵庫、テレビ、LED照明器具のうち一定の省エネ性能のあるもので補助率は2分の1、

上限70,000円です。還元方法はキャッシュレスポイント及び商品券となっています。詳細は、今後決定し公表されます。

令和6年2月にコールセンターの開設、3月から申請受付開始になる予定です。



さいたま市議会議員

小森谷 まさる

市政についてのご意見・ご要望はお気軽に

TEL: 048-688-1047

FAX: 048-684-5392

komoriya@komei-saitamacity.com
<https://komoriyamasaru.com/>

